

日本工学院北海道専門学校

あなたの学びたい気持ちを応援する

進学をあきらめない!

高等教育(大学・短大・専門学校等)の

『修学支援新制度』

をご紹介します
いたします

授業料減免 と 給付型奨学金

令和2年の4月より、「学びたい」気持ちをさらに応援し、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、現行の給付型奨学金の額が大幅に増えます。あわせて授業料や入学金も支援され、また対象者も住民税非課税世帯に加え、それに準ずる世帯まで拡大されます。詳しくは以下と裏面をご確認ください。

給付型奨学金

日本学生支援機構が各学生に支給。
学生が学業に専念するため、**学生生活を送るのに必要な学生生活費を賄える**よう措置。

[給付型奨学金の給付額] ※年額 ※住民税非課税世帯

		自宅生	自宅外生
国公立	大学・短期大学・専門学校	約35万円	約80万円
	高等専門学校	約21万円	約41万円
私立	大学・短期大学・専門学校	約46万円	約91万円
	高等専門学校	約32万円	約52万円

住民税非課税世帯 に準ずる世帯の学生

- 両親・本人・中学生の家族4人世帯の場合の目安
- 基準を満たす世帯年収は家族構成により異なる

給付型
奨学金

住民税非課税世帯の学生
2/3又は1/3を支援し、
支援額の段差を滑らかに

年収目安 約270万円(非課税) 約300万円 約380万円

授業料等減免

各大学等が、以下の上限額まで**授業料等の減免を実施**。
減免に要する費用を公費から支出。

[授業料等減免の上限額] ※年額 ※住民税非課税世帯

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約8万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円

授業料等
減免

2/3

2/3

1/3

1/3

支援対象者の要件

- 進学前は成績だけで否定的な判断はせず、レポート等で本人の学習意欲を確認
- 大学等へ進学後の学習状況に厳しい要件

(文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」より)
※本制度は変更になる場合があります

裏面に具体的なモデルケースを掲載しておりますので、是非ご確認ください。